

表象メディア論A ミュージックビデオとキリスト教をめぐる諸問題
 (1) チャリティ・ソング

Band Aid “Do They Know It’s Christmas” (1984)

監督：Nigel Dick, 1953-

It's Christmastime, There's no need to be afraid At Christmastime, We let in light and we banish shade And in our world of plenty We can spread a smile of joy Throw your arms around the world At Christmastime	クリスマスだ。 恐れる必要はない クリスマスには 光を受け入れ闇を消し去るのだ 満ち足りた世界に 喜びの笑顔を拡張できる 世界に腕を差し伸べよう クリスマスの時に
But say a prayer, Pray for the other ones At Christmastime it's hard, <u>But when you're having fun</u> <u>There's a world outside your window</u> <u>And it's a world of dread and fear</u> <u>Where the only water flowing</u> <u>Is the bitter sting of tears</u> <u>And the Christmas bells that ring there are</u> <u>The clanging chimes of doom</u> <u>Well tonight thank God</u> <u>It's them instead of you</u>	でも、祈りを述べよう 隣人の為に祈ろう クリスマスには困難なことだ しかし、楽しみのある時には <u>窓の外に、ひとつの世界がある</u> <u>その世界では不安と恐れがあり</u> <u>流れている水が</u> <u>苦い涙だけの世界</u> そこで鳴るクリスマス・ベルは <u>不運を告げている</u> <u>今夜は神に感謝しよう</u> それが、彼らの不運であって自分の不運でないこ とを
And there won't be snow in Africa this Christmastime The greatest gift they'll get this year is life Where nothing ever grows No rain nor rivers flow Do they know it's Christmastime at all?	アフリカでは今度のクリスマスにも 雪は降らない 今年彼らが受け取る最高の贈り物は命 何も育つことのない場所で 雨も降らない、川も流れない 彼らはクリスマスの時だと知っているのだろうか
Here's to you Raise a glass for everyone Here's to them Underneath that burning sun Do they know it's Christmastime at all?	あなたには みんなの為に乾杯すること かれらには あの燃える太陽の下で 彼らはクリスマスの時だと知っているのだろうか
Feed the world Feed the world Feed the world Feed the world Feed the world Let them know it's Christmastime again - [repeated] Feed the world Feed the world - [repeated to end]	食糧を世界に 食糧を世界に 食糧を世界に 食糧を世界に 食糧を世界に 彼らに、またクリスマスが来ると知らせよう 食糧を世界に 食糧を世界に

マタイによる福音書2章1～15節（新共同訳）

- 1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、
- 2 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」
- 3 これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。
- 4 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。
- 5 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。
- 6 『ユダの地、ベツレヘムよ、／お前はユダの指導者たちの中で／決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、／わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」
- 7 そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。
- 8 そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせしてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。
- 9 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。
- 10 学者たちはその星を見て喜びにあふれた。
- 11 家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。
- 12 ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。
- 13 占星術の学者たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」
- 14 ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、
- 15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した」と、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。
- 16 さて、ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った。そして、人を送り、学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。
- 17 こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが実現した。
- 18 「ラマで声が聞こえた。激しく嘆き悲しむ声だ。
ラケルは子供たちのことで泣き、
慰めてもらおうともしない、
子供たちがもういないから。」

USA for Africa 《We are the World》 (1985)

監督：Quincy Jones, 1933-

Lyrics (generally recognized)

- | | |
|--|--|
| <p>A There comes a time when we need a certain call
 When the world must come together as one
 There are people dying
 Oh, and it's time to lend a hand to life
 The greatest gift of all</p> | <p>あの呼び声に耳を傾ける時が来た。
 世界がひとつになる時が来た。
 人々が死んでゆく。
 おお、命のために手を貸す時が来た。
 それは最大の贈り物。</p> |
| <p>B We can't go on pretending day by day
 That someone, somehow will soon make a change
 We're all a part of God's great big family
 And the truth –
 You know love is all we need</p> | <p>日々、知らないふりを続けられない
 誰かがどうにか変化を起こしているのを。
 私たちはみな神の大きな家族の一員。
 真実は
 私たちに必要なのは愛だということ。</p> |
| (Chorus) | |
| <p>C We are the world, we are the children
 We are the ones who make a brighter day
 so let's start giving
 There's a choice we're making
 We're saving our own lives
 It's true we'll make a better day
 Just you and me
 Oh, send'em you your heart
 So they know that someone cares
 And their lives will be stronger and free
 As God has shown us
 By turning stone to bread
 And so we all must lend a helping hand</p> | <p>僕らは仲間 僕らは子供たち。
 明るい明日を作るのは僕らの仕事
 さあ始めよう。
 選ぶのは君だ。
 それは僕らのいのちを救うこと。
 本当さ よりすばらしい世界を作るのさ。
 君と僕で。
 おお、心を届けよう。
 彼らは、誰かが気に掛けてくれていると知り
 強く自由になる。
 神が石をパンに変えて
 示してくださったように
 私たちも救いの手をさしのべねばならない。</p> |
| (After Chorus) | |
| <p>D When you're down and out
 There seems no hope at all
 But if you just believe
 There's no way we can fall
 Well, well, well, let's realize
 That one change can only come
 When we stand together as one
 Hey, Yeah, Yeah, Yeah...</p> | <p>気落ちして見放されたら
 何の希望もない。
 でも信じることさえできれば、
 負けるはずはないと。
 そう、そう、そう、信じよう。
 変化はきっと起きると。
 僕らがひとつになって一緒に立ちあがるとき
 ヘイ、イエイ、イエイ、イエイ。</p> |
| (Chorus) (Chorus) (Chorus) (Chorus) (Chorus) (Chorus) (Chorus) | |

旋律と歌詞の対応

ヴァース (歌詞 A, B, に対応)	譜例 a 
---------------------------	--

コーラス (歌詞 C に 対応)	譜例 b 
アフターコーラス (歌詞 D に 対応)	譜例 c 

この楽曲は、飢餓救済義援金のために全米屈指のアーティストが無償で出演するという美談にもかかわらず、必ずしも、好意的にばかり受容されたわけではなかった。たとえば、音楽評論のD.マーシュは、この楽曲がロック・ファンに好評でない理由として、《We Are the World》が「センチメンタル過ぎて、飢餓を生みだした背景にある政治的方策を批判するという、ロックの精神の本来の機能を果たせないままにある」(※1)と指摘している。また、R.ガロファロのように、「不愉快な自己耽溺」(※2)といった、いっそう厳しい評価を下す論者もいる。

続唱旋律の「私たちは自分の生活を自分で守っていける」は、おそらく、不愉快な自己耽溺の極致である。そこに集まったアーティストたちは、この箇所で、自分たちの救済を宣言したのだ。自分たちが経験しない事態について歌うことをもって、自分たちが出会いもしない人々の代わりに、自分たちが救われると。

※1 Dave Marsh, *Bruce Springsteen: Two Hearts*. Routledge. 2004, p. 519.

※2 Garofalo, "If We are the world, then how do we change it?" *Rockin' the Boat*. South End Press, 1992., p. 29.

このような指摘を受けてみなおすと、この箇所での「私たち (We)」は、タイトルにおける「私たち (We)」が人類全体を指しているのと異なり、義援金を受け取る側を「彼ら (Them)」として措定している可能性をふまえなければならないようにも思われる。



コリントの信徒への手紙一 第13章第13節

信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

マタイによる福音書、第4章第1～4節

さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」

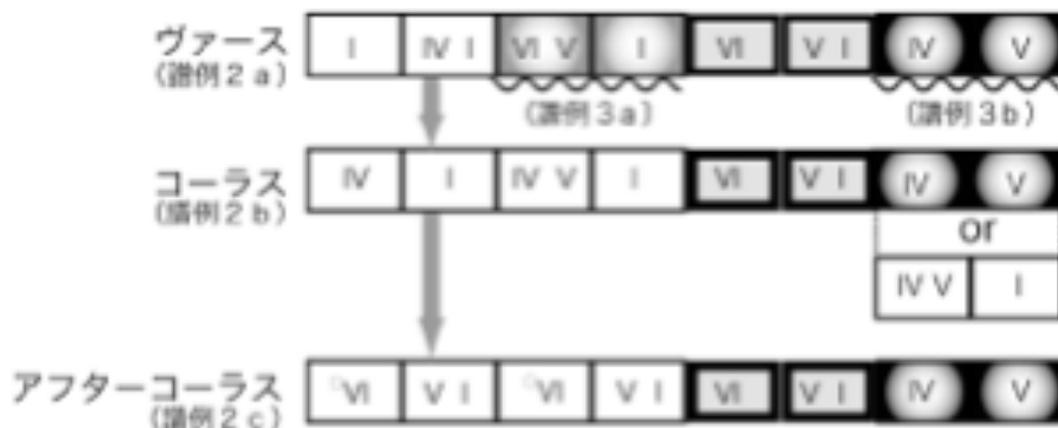
ヴァース旋律内の共通要素

第3～4小節

第7～8小節



コーラスの導入の三種統一



ヴァース (A₁) の末尾

コーラス (C₁) の始まり

ヴァース (B₁) の末尾

コーラス (C₂) の始まり

アフターコーラス (D₁) の末尾

コーラス (C₂) の始まり

ワーウィックの変奏唱

変奏



原形



ロギンスの変奏唱

変奏



原形

ローパーの変奏唱

変奏



原形

ワンダーとスプリングスティーンの掛け合い

S.ワンダー(大スタジオ)

B.スプリングスティーン(大スタジオ)

S.ワンダー(音声譜)

音源／映像の収録プロセスとその合成

	1'20~1'44	4'55~5'47	4'25~4'54	6'15~6'42
小スタジオ			R. チャールズ	J. イングラム R. チャールズ
大スタジオ	B. ロス	S. ワンダー B. スプリングスティーン	合唱	(合唱)
小スタジオ	M. ジャクソン	S. ワンダー		